

**1学期の学校評価** (職員・生徒に実施)

(青文字 3.5以上 赤文字 2.5以下)

【評価】		4…十分に達成できている	3…おおむね達成できている	2…あまり達成できていない	1…ほとんど達成できていない	職員	生徒
勉学 (知)	明確な目標をもって主体的に学習に取り組み、意欲的に発表、表現している。					3.0	2.9
	自宅学習の時間確保(1年120分, 2年150分, 3年180分)・質の向上が図られている。					1.9	2.5
	将来の目標をもち、自分の将来設計を立て、その実現に向けて努力している。					2.4	3.0
	各種検定・コンクール等に積極的に参加し、社会的自信を付けている。					2.9	2.1
	模範ノート・模範自宅学習帳の提示、話し合い活動・発表の仕方の提示、様々な人との交流学習などを行い、学び方が身に付くように工夫している。					2.9	2.6
	各種検査、テスト等の分析を生かして、個別の家庭学習課題を付与したり学習内容を工夫したりするなど個に応じた指導の充実を図っている。					3.0	3.6
	キャリア教育の視点から教育活動を見直すなどして生き方指導の充実が図られている。					3.2	3.7
	3年間を通じた計画的な進路指導が実施できている。					3.2	3.6
	ひおき学の充実や地域貢献活動の推進が図られている。					3.4	3.5
	研究授業を通じた実践的研究や校外研修への積極的な参加ができている。					2.9	3.9
礼節 (徳)	心の伝わる挨拶(五あいさつ)ができている。					3.0	2.8
	互いの存在を肯定的に受け止めようとし、誰に対しても公正、公平に接している。					2.9	3.1
	係活動や当番活動、生徒会活動に責任を持って取り組み、協力して活動している。					3.0	2.9
	身の回りの整理・整頓ができ、持ち物の管理ができている。					2.6	2.9
	朝・夕の合唱に意欲的に取り組み、大きく美しい声で歌っている。					3.0	3.7
	考え議論する道徳をめざした授業を実践し、授業における生徒の変容等を記録している。					2.8	3.3
	朝読書やビブリオバトル等の読書活動を充実させ、読書推進が図られている。					3.6	3.4
	構成的エンカウンターやアサーショントレーニング等を取り入れるなどして人間関係能力の育成に努めている。					2.8	3.3
	生徒指導や特別支援教育の実践について共通理解を図り、組織として対応できている。					3.2	3.8
	3つの時刻の定着や家庭のきまり(ネットワーク利用における我が家のルール・一家庭一家訓)の更なる意識化が図られるよう、保護者との連携ができている。					3.0	3.5
剛健 (体)	目標を持って体力づくり(朝のランニング、昼休みの運動等)や部活動(外部のスポーツ活動)に積極的に取り組んでいる。					3.0	2.8
	徒歩による登校や家庭での体力づくり(一家庭一運動)ができている。					2.5	3.1
	3つの時刻を守り、規則正しい生活を送っている。					2.6	2.9
	自分の健康状態を把握し、積極的に健康増進や疾病治療に努めている。					2.9	2.9
	災害や事故等への危機意識を持ち、安全に注意して行動している。					3.3	3.7
	ボランティア活動や地域行事に進んで参加している。					3.0	3.3
	生徒会が主体となって行う体育的行事、スポーツ大会等の場を設定し、生徒がスポーツや運動に親しんだり体力づくりに励んだりしようとする態度を育成している。					3.2	3.4
	学活や給食指導、生活点検等を通して、食事や睡眠の大切さを理解させている。					3.3	3.3
	災害や事故を想定した実際の避難訓練が実施できている。					3.7	3.8
	地域行事へ積極的に関わったり、地域や卒業生等の人材を活用したりするなど地域との連携を図っている。					3.3	3.5

1学期は、様々な教育活動が実施されましたが、どの活動も前年度の反省をもとに見直しをしたり、生徒の実態に応じた工夫を加えたりして非常に充実したものとなりました。そのようなことから、職員、生徒ともに全体的に良い評価になっていると言えます。2学期は、以下のような点を中心に改善を図っていききたいと思います。

**勉学(知)**

個に応じた学習指導やキャリア教育、ひおき学の充実が図られていくと期待されます。しかし、自宅学習の時間・質の向上に課題があります。学習時間を確保できるように家庭での過ごし方を見直すとともに、宿題以外の自主的な学習のやり方について再度指導していく必要があると考えます。

**礼節(徳)**

合唱や読書活動の充実が図られ、生徒指導や特別支援教育の組織的な対応、保護者との連携もとれていくと言えます。生徒会も呼びかけていますが、土橋中の良き伝統である心の伝わる挨拶が引き継がれていくよう、「五あいさつ」をさらに意識していく必要があります。

**剛健(体)**

実際の避難訓練の実施によって、生徒の危機意識や安全意識が高まっていると言えます。また、朝のランニングや昼休みの運動に取り組む生徒も増え、体力づくりへの意識が高まっていると言えます。一家庭一運動として親子縄跳びにも取り組んでほしいと思います。